

# 大口径検土杖を用いた湿原調査の手順

＜古川 竜太<sup>1)</sup>・七山 太<sup>1)</sup>＞



①挿入作業  
整地した湿原表面に、ハンドル部に荷重して検土杖を目標深度まで垂直に挿入する。



②回収作業  
ハンドルを回転させながら引き上げて、サンプラーに収納された柱状試料を回収する。



③試料観察・採取作業  
試料の表面を薄くナイフで削って観察した後、試料を採取する。